

2024年(令和6年)2月28日(水曜日)



西菱電機

神戸市にハイブリッド拡声子局設置

LTE回線で放送無線二重化

西菱電機は、防災行 報無線システム「ハイ
政無線回線と携帯電話 ブリッド拡声子局」を
回線とで通信を二重化 神戸市に納入した。同
するハイブリッド型同 市は12月から運用を開

始している。毎月17日
にテスト放送を行って
おり、順調に稼働して
いる状況だ。



設置されたハイブリッド拡声子局

神戸市は、大地震や
風水害などが発生した
場合に、災害情報や避
難情報などを早期に多
数の人に迅速かつ的確
に情報提供する手段と
して、防災行政無線を
整備している。無線
は、市役所の親局が市
内178カ所の屋外ス
ピーカー(拡声子局)
などに伝達。神戸三宮
ターミナルは1日70万
人を超える乗降客数
で、有事の際に多くの

人に情報提供や避難情
報を的確に伝えること
のできる拡声子局とし
て同拡声子局を採用し
た。

従来の防災行政無線
システムは60MHz帯の
専用無線回線で通信を
行っていた。今回のシ
ステムは、携帯電話回
線(LTE)でも通信
可能なハイブリッド拡
声子局とすることで通
信路の二重化を実現。
防災アプリ・メール・
SNSなどの連携
で、市民へ広く情報伝
達を行うことも可能。
拡声子局に防災用高性
能スピーカーを採用し
たことで、音達距離が
従来の約1.5〜2
倍。近くでは優しく、
遠くでもはっきり聞こ
える仕様とした。

設置箇所は、JR三
ノ宮駅の北側。JRの
敷地内で夜間工事を行
い、施工期間は1週
間。局の高さは15階程
度。駅周辺は再開発が
進んでおり、今後、建
設される高層ビルなど
の影響により電波環境
が変化した場合でも、
LTE回線のバックア
ップで安定的な放送を
実現。放送無線を二重
化し、高層ビル建設時
のリスクを回避する。

システムは人口が多
い、都市部での設置に
有効。各自治体から引
き合いも増えている。
価格も従来機種と同等
の価格帯で提供できる
という。防災無線は9
割以上の自治体で導入
されており、更新需要
獲得を目指す。